

# 都市・農山漁村交流 地方暮らし応援フォーラム

JOIN(移住・交流推進機構) 第2回地方交流会

入場無料 定員200名

2008年 初夏



開催地 **広島県**

日時：平成20年6月4日（水）

14：00～17：00

場所：ウェルシティ広島

(広島厚生年金会館)

3階「銀河」

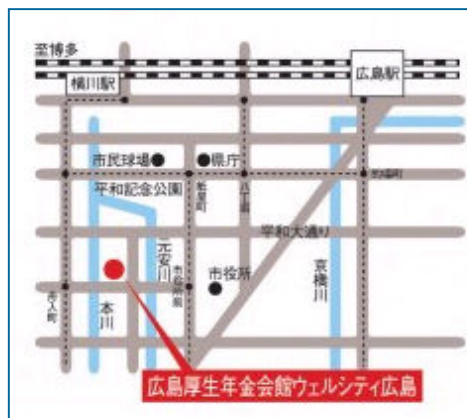
広島市中区加古町3-3

平和記念公園から徒歩5分

JR広島駅(山陽新幹線・山陽本線)より

吉島行バスで25分、厚生年金会館前下車。

またはタクシーで15分。



主催／広島県交流・定住促進協議会 ひろしま暮らし支え隊 JOIN(移住・交流推進機構)  
後援／広島経済同友会 広島県商工会議所連合会 広島県商工会連合会

# Program

## プログラム



### ■開会あいさつ 14:00~14:05

主催者代表 JOIN(移住・交流推進機構)事務局長 小暮純也

### ■ウェルカム・スピーチ 14:05~14:15

作家、広島暮らしPR大使 JOIN(移住・交流推進機構)大使

## 見延典子(みのべのりこ)さん



北海道札幌市生まれ。早稲田大学文学部業。  
卒業論文として書いた「もう頬づえはつかない」で作家デビュー。  
50万部を超えるベストセラーとなり、映画化もされた。  
1981年、結婚を機に広島へ移住。  
その後も積極的に執筆活動続け、2004年から2年半、中国新聞に小説「頼山陽」を連載し、  
2007年秋刊行された。2008年4月15日、同小説で、第27回新田次郎文学賞を受賞。  
2007年から「広島暮らしPR大使」「JOIN(移住・交流推進機構)大使」としても活躍中。

### ■基調講演 14:15~15:05

## 【テーマ】大都市集中加速の時代 なぜ『地方暮らし』なのか

人口減少社会の中、元気なまちづくりをするひとつの切り口が「移住促進」。手始めに北海道内でスタートさせた期間限定の「ちょっと暮らし」事業。05年は30人、06年は417人、07年は616人が参加。  
旅行業界からは「ロングステイ」、不動産業界からは「短期賃貸」という新たなマーケット拡大への期待が寄せられている。これら事業がきっかけとなって、道内市町村や関連企業・団体が構成する「住んでみたい北海道推進会議」のメンバーは337団体(2008年5月現在)となり、大都市圏住民等に北海道の魅力をアピールするイベント(2007年度集客数延べ3,200人/東京・名古屋・大阪)などを実施。  
住民、企業、行政が手を携え、少しずつ一方を踏み出すことで、地方が大きく動き始めた！

### 【講師】

北海道企画振興部 地域づくり支援局 移住・交流グループ主幹

## 大山慎介(おおやましんすけ)さん



北海道厚沢部町出身  
昭和60年 北海道庁入庁  
労働部、十勝支庁、自治省派遣、市町村課、地域振興課、  
財政課、人事課、政策室、経済部 知事政策部等を経て現職  
<その他役職>  
平成10年~ SAS北海道代表幹事  
平成18年 総務省「人口減少自治体の活性化に関する研究会」委員  
総務省「都市から地方への人材誘致・移住促進に関する調査研究会」委員  
総務省「移住・交流事業モデル検討委員会」委員

北海道移住促進プロジェクトの仕掛け人、移住ビジネスの伝道師役として活躍中！

### ■休憩・名刺交換タイム 15:05~15:25

## ■パネルディスカッション 15:25～16:45

【テーマ】地域を元気にするビジネス・パートナーシップとは  
【コーディネーター】



株式会社 日本総合研究所 総合研究部門 主任研究員

### 矢野勝彦(やのかつひこ)さん

1965年生まれ。1989年東京大学法学部卒業後、住友銀行、厚生省、NTTデータ経営研究所等を経て現職。生活サービス産業創出による地域再生を中心に、シニアビジネス、観光、健康等の事業化を支援。人口減少自治体活性化(総務省)委員、福島県「過疎・中山間地域ビジネスモデル実現可能性に関する調査研究」委員等を歴任。  
主な著書に「シニアライフ&ビジネスデータ集」(2007年、共著:総合ユニコム)など。

【パネリスト】

(同左頁)

北海道企画振興部 地域づくり支援局 移住・交流グループ主幹

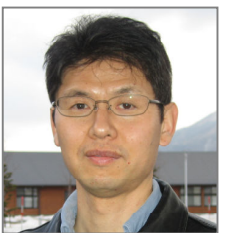
### 大山慎介(おおやましんすけ)さん



株式会社JTB 事業創造本部シニアカレッジ事務局長

### 本間義信(ほんまよしのぶ)さん

新潟県生まれ。1981年北海道大学農学部農学科卒業後、(株)日本交通公社に入社。海外旅行専門支店、営業本部情報企画部門、本社経営改革部、セブン-イレブン子会社への出向、本社市場開発部、同地域ビジネス事業部等を経て、現職。支店勤務時代に「環境」「福祉」「教育」「都市開発」「観光」「まちづくり」などをテーマに海外の先進事例視察旅行を企画した経験と、全社的なシニアマーケットのプロジェクトの経験、そして学生時代の専門を活かした新規事業を起し、世の中に新しい価値と価値観を創造することが現在の使命。



島根県中山間地域研究センター 地域研究グループ科長

### 藤山 浩(ふじやまこう)さん

島根県益田市生まれ。1982年一橋大学経済学部卒業後、株式会社中国・地域づくりセンターにて、中国地方の地域づくりに携わる。その後、ニュージーランド留学、広島大学大学院国際協力研究科開発科学コース博士課程前期を経て、島根県中山間地域研究センターに。2004年より現職。島根県飯南町に妻と子ども二人で、築80年の大きな家を借り、田園生活中。  
主な著書に「島根県の未来を考えるー島根地域政策の課題と展望」(2007年、島根県立大学地域政策研究グループ編、山陰中央新報社)など。



広島経済同友会 常任幹事、森信建設(株)代表取締役、  
広島県交流・定住促進協議会副会長

### 森信秀樹(もりのぶひでき)さん

広島市生まれ。同志社大学商学部卒業。建設会社の社長業の傍ら、まちづくりにも汗を流す熱血男。2003年より広島経済同友会「広島県を考える委員会」の委員長を4年間務めた。その間に提言した「ストップ・ザ広島県の人口減少 実りあるセカンドライフの選択・年金転入者6万人計画」等が広島県の交流定住施策加速のきっかけに。2007年6月には広島経済同友会会員有志で構成する「ひろしま暮らし支え隊」を設立し、「1社1サービス」を展開中。趣味は平和大通り樹木探索、座右の銘は「誠実」。

## ■JOIN(移住・交流推進機構)取り組み紹介 16:45～16:55

JOIN(移住・交流推進機構)事務局

## ■閉会あいさつ 16:55～17:00

開催地代表 広島県企画振興局地域振興部長 中山雅文

■交流会 17:15～18:15 2階「ルミエール」 参加費 ¥3,000 立食形式・フリードリンク

## お申し込みは、ファックスまたは電話にて承ります。

お名前、ご連絡先、交流会への参加の有無等を明記してください。  
受付のご連絡はいたしません。定員になりお席が御用意できない場合のみ、ご連絡させていただきますので、御了承くださいませ。

**FAX申込用紙 送信先 FAX082-224-1977**

お名前	ご所属 ご連絡先 TEL E-mail 交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
お名前	ご所属 ご連絡先 TEL E-mail 交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
お名前	ご所属 ご連絡先 TEL E-mail 交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない

※お寄せいただいた個人情報は、外部に流出しないように管理し、広島県交流・定住促進協議会の活動目的以外には使用しません。

フォーラムについてのお問い合わせは...電話 082-513-2623  
広島県交流・定住促進協議会事務局(広島県企画振興局交流定住室内)

担当:出原



山下



広島暮らしに関するご相談は

広島暮らしサポートデスク

フリーダイヤル さーごいっしょに よいくらし

**0120-351-419**

広島暮らしの情報は

交流定住ポータルサイト

広島暮らし

検索